



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニックトー
コード番号 5367 URL <http://www.nikkato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西村 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 土井 祐二

TEL 072-238-3641

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,481	5.5	329	1.0	344	1.3	233	8.3
28年3月期第2四半期	4,247	15.3	325	177.1	340	156.9	215	160.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	19.51	—
28年3月期第2四半期	18.02	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
29年3月期第2四半期	12,921	72.6	9,385	72.6	786.25	786.25		
28年3月期	12,700	72.6	9,226	72.6	772.91	772.91		

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 9,385百万円 28年3月期 9,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	6.1	630	5.9	650	2.6	420	1.8	35.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	12,135,695 株	28年3月期	12,135,695 株
29年3月期2Q	198,871 株	28年3月期	198,807 株
29年3月期2Q	11,936,845 株	28年3月期2Q	11,936,967 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(貸借対照表関係)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、年明けからの世界同時株安、円高が続き、4月の熊本大震災もございましたが、これに6月の英国の国民投票によるEU離脱決定が拍車をかけた格好でさらに円高が加速した事で、輸出産業を中心に今期業績に対する弱含みな状態が続いております。

このような状況のもとで、当社はセラミックス事業で特に電子部品向けのジルコニアボールの売り上げが好調であった一方、エンジニアリング事業は売上は予定に届かなかったものの粗利率が高い物件が多く、第2四半期の予算はほぼ達成できました。

この結果、売上高は4,481,272千円となり、前年同期比5.5%の増収になりました。

事業別では、セラミックス事業はジルコニアボールの属する耐摩耗セラミックスが好調だったこと、額は僅かでしたが環境部門向けの機能性セラミックスがこの期間は増えたことにより、耐熱セラミックスの不振をカバーし、前年同期比3.1%増収の3,332,684千円となりました。市場別構成比率では、電子部品向け59.7%、化学・窯業・鉄鋼向け12.7%、機械・ベアリング向け7.4%となり、電子部品向けの比率がさらに高まっています。

エンジニアリング事業につきましては、昨年上半期が不振だったこともあり、前年同期比13.1%増収の1,148,588千円となりました。市場別構成比率では、電子部品向けが40.9%、環境・エネルギー向け22.6%、半導体向け13.3%、自動車・重機向け12.1%となり、比率に変動はあるもののこの4部門に集中しております。

損益につきましては、セラミックス事業の販売価格の低下を製造部門の稼働率の上昇とエンジニアリング事業の利益の増加で補った形となり、営業利益は前年同期比1.0%増益の328,535千円、経常利益も前年同期比1.3%増益の344,016千円となりました。税引前四半期純利益につきましては、当第2四半期は特別損失に大きなものがなかったことで前年同期比5.4%増益の342,861千円となり、四半期純利益も前年同期比8.3%増益の232,832千円となりました。

当第2四半期の配当につきましては、予定通り1株につき6円とさせていただきます。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債純資産の状況

資産は、流動資産で現預金が前期末比26.8%増加、余剰資金の運用による有価証券が前期末比53.6%減少、棚卸資産も前期末比8.5%減少し資金効率の改善に寄与しました。固定資産では減価償却が進んだ影響等により前期末比0.3%減少となりました。この結果、資産合計では前期末比1.7%増加の12,920,701千円となりました。

負債は、流動負債で買掛債務の減少により前期末比4.8%減少しましたが、固定負債は長期借入金の調達により前期末比56.5%増加等があり、合計では前期末比1.8%増加の3,535,342千円となりました。

純資産につきましては、繰越利益剰余金の増加により前期末比1.7%増加の9,385,359千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物は2,274,590千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益の増加や売上増による売上債権の増加及び棚卸資産の圧縮により517,519千円のプラスとなりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得や余剰資金の運用による有価証券の売却及び投資有価証券の取得・売却で63,146千円のマイナスとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や配当金の支払いの一部を長期借入金の調達で賄い、546千円のマイナスとなりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界情勢が一層不透明感を増す中、わが国におきましては企業間、地域間の格差が益々増大し予断を許しません。このような状況の下で、当社は特徴のある製品及び商品を提供し差別化を図り、利益確保に努めて行く所存でございます。

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月6日付「平成28年3月期決算短信[日本基準]（非連結）」にて公表いたしました通り、売上高91億円、営業利益6億3千万円、経常利益6億5千万円、当期純利益4億2千万円を予想しており変更はございません。

(注) 本資料に記載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,810,123	2,294,590
受取手形及び売掛金	3,096,243	3,271,882
有価証券	431,846	200,448
商品及び製品	605,523	608,201
仕掛品	1,153,084	992,275
原材料及び貯蔵品	304,817	286,958
その他	126,724	113,618
貸倒引当金	△600	△4,900
流動資産合計	7,527,763	7,763,075
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,464,646	1,418,756
機械及び装置(純額)	1,004,897	931,510
その他(純額)	681,055	708,715
有形固定資産合計	3,150,599	3,058,982
無形固定資産	72,893	66,062
投資その他の資産		
投資有価証券	1,849,036	1,964,033
その他	99,692	68,548
投資その他の資産合計	1,948,729	2,032,581
固定資産合計	5,172,222	5,157,626
資産合計	12,699,986	12,920,701
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	551,670	367,371
買掛金	1,071,015	1,176,803
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	184,008	206,836
未払金	475,338	507,127
未払法人税等	137,591	131,687
賞与引当金	201,000	207,000
役員賞与引当金	19,888	9,944
その他	45,387	79,693
流動負債合計	3,085,898	3,086,463
固定負債		
長期借入金	106,548	166,704
役員退職慰労引当金	142,408	141,028
資産除去債務	39,347	39,683
その他	99,613	101,463
固定負債合計	387,917	448,878
負債合計	3,473,816	3,535,342

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,225,438	1,225,438
利益剰余金	6,597,189	6,746,464
自己株式	△86,475	△86,498
株主資本合計	9,056,893	9,206,144
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	169,276	179,214
評価・換算差額等合計	169,276	179,214
純資産合計	9,226,170	9,385,359
負債純資産合計	12,699,986	12,920,701

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,246,940	4,481,272
売上原価	3,311,102	3,515,053
売上総利益	935,838	966,218
販売費及び一般管理費	610,543	637,683
営業利益	325,294	328,535
営業外収益		
受取利息	1,120	3,811
受取配当金	15,067	19,947
その他	5,844	10,270
営業外収益合計	22,032	34,029
営業外費用		
支払利息	5,013	4,123
たな卸資産廃棄損	-	5,740
コミットメントフィー	2,637	2,642
その他	14	6,041
営業外費用合計	7,666	18,548
経常利益	339,660	344,016
特別損失		
固定資産廃棄損	1,814	1,154
貸倒損失	12,478	-
特別損失合計	14,293	1,154
税引前四半期純利益	325,367	342,861
法人税、住民税及び事業税	125,000	118,000
法人税等調整額	△14,693	△7,971
法人税等合計	110,306	110,028
四半期純利益	215,060	232,832

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	325,367	342,861
減価償却費	238,444	230,146
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△480	4,300
受取利息及び受取配当金	△16,188	△23,759
支払利息	5,013	4,123
退職給付引当金の増減額(△は減少)	27,351	25,470
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,650	△1,380
貸倒損失	12,478	-
固定資産廃棄損	1,814	1,154
売上債権の増減額(△は増加)	763,567	△175,638
たな卸資産の増減額(△は増加)	△76,771	175,990
その他の資産の増減額(△は増加)	△64,412	△3,591
仕入債務の増減額(△は減少)	△89,392	△78,511
未払消費税等の増減額(△は減少)	△88,226	40,623
その他の負債の増減額(△は減少)	△52,443	81,701
小計	992,772	623,490
利息及び配当金の受取額	16,363	27,865
利息の支払額	△5,159	△4,111
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△93,018	△129,725
営業活動によるキャッシュ・フロー	910,957	517,519
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△100,000	-
有価証券の売却による収入	-	200,000
有形固定資産の取得による支出	△204,062	△181,304
無形固定資産の取得による支出	△17,702	△608
投資有価証券の取得による支出	△403,364	△301,033
投資有価証券の売却による収入	-	200,006
貸付金の回収による収入	470	307
定期預金の払戻による収入	150,000	-
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△500	19,485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△575,159	△63,146
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△117,016	△117,016
自己株式の取得による支出	△46	△23
配当金の支払額	△59,524	△83,507
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,412	△546
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	359,210	453,825
現金及び現金同等物の期首残高	1,622,778	1,820,764
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,981,989	2,274,590

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、2014年以前の開発初期段階に納入いたしましたSNT-07ボールの一部に発生している品質上の不具合について客先と補償又は費用負担に関する協議をいたしております。現時点で金額を合理的に見積もることが困難であるため製品回収損失引当金については計上しておりません。なお、SNT-07ボールについては現在も継続的に納入しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,231,047	1,015,893	4,246,940	4,246,940
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,231,047	1,015,893	4,246,940	4,246,940
セグメント利益	309,397	15,897	325,294	325,294

当第2四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,332,684	1,148,588	4,481,272	4,481,272
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,332,684	1,148,588	4,481,272	4,481,272
セグメント利益	309,997	18,537	328,535	328,535